

**製品名: リン酸化 RSK1 p90 (Ser380) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe87666**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000, ICC/IF 1:20-1:50, IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 83 kDa; Observed MW: 90 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	Phospho-RSK1 p90
別名	RSK; HU-1; RSK1; p90Rsk; MAPKAPK1; MAPKAPK1A
遺伝子 ID	6195
SwissProt ID	Q15418
免疫原	ヒト RSK1 p90 の Ser380 周囲の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

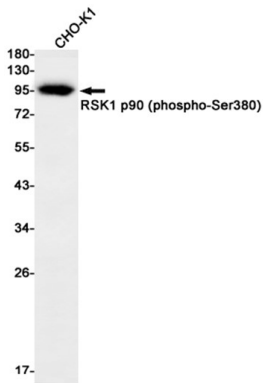
**背景**

この遺伝子は、セリン/スレオニンキナーゼである RSK（リボソーム S6 キナーゼ）ファミリーのメンバーをコードしています。この

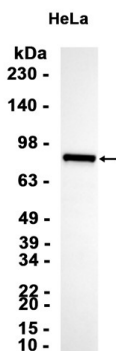
キナーゼは2つの非相同なキナーゼ触媒ドメインを有し、マイトジェン活性化キナーゼ (MAPK) シグナル伝達経路のメンバーを含む様々な基質をリン酸化します。このタンパク質の活性は、細胞の増殖と分化の制御に関与していることが示唆されています。異なるアイソフォームをコードする代替転写スプライスバリエントが特徴付けられています。[RefSeq 提供、2008年7月]

## 研究分野

## 画像データ



RSK1 p90 (リン酸化 Ser380) 抗体 (1:1000 希釈) を使用した CHO-K1 細胞溶解物中の RSK1 p90 (リン酸化 Ser380) のウエスタン ブロット検出。



AMRe87666 を 1:2000 で使用して HeLa 細胞抽出物をウエスタン ブロット分析しました。